

学校に行きづらい子どもたちの支援をしています 調布市における不登校児童・生徒の相談支援

調布市では、不登校は特定の子どものみには起こるのではなく、「どの子どもにも起こり得ること」として捉え、不登校に対する取組を進めています。

不登校の子ども一人一人の状況は様々であり、不登校の回復に向けたステップも様々です。

市では、子どもたちの様々なニーズに応えられるよう、多様な学びの場、支援の場の提供や保護者の方への支援等を行っています。

本リーフレットでは、調布市の不登校に関する支援事業を紹介しています。ぜひご活用いただき、不登校の子どもたちの社会的自立に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。

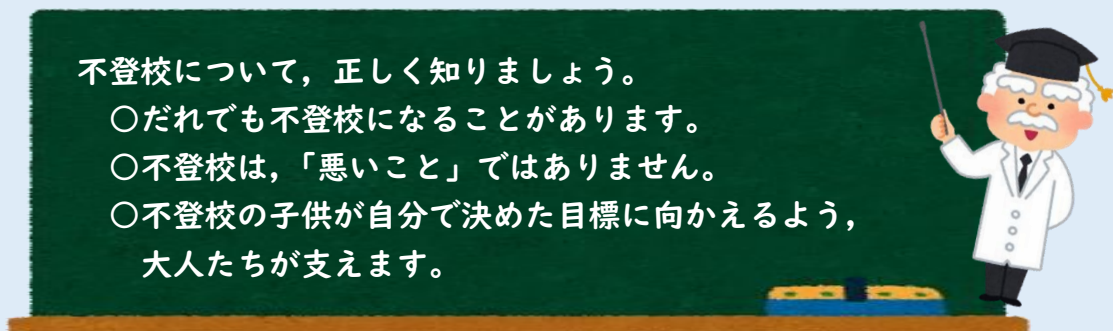


不登校って何？

不登校とは、友達との関係で悩んだり、学習に不安な気持ちがあったりして、学校に通うことができないことをいいます。そのようなときは、不安な気持ちをがまんして学校に通うのではなく、家で休んだり、自分に合った方法で学習したりすることも大切です。

不登校について、正しく知しましょう。

- だれでも不登校になることがあります。
- 不登校は、「悪いこと」ではありません。
- 不登校の子供が自分で決めた目標に向かえるよう、大人たちが支えます。



子供向けデジタルリーフレット『「教育機会確保法」って何？』（東京都教育委員会）より

調布市における不登校の相談先・支援機関

①校内支援

学校では、登校しづりや不登校の児童・生徒のために、別室等で支援を行っています。

空き教室や支援員の確保等の状況により、対応が異なります。詳しくは各学校へご相談ください。

☎ 学校へ問合せ

②不登校対応巡回教員

NEW

第七中、第八中を拠点に、2名の巡回担当教員が中学校8校を巡回し、不登校生徒の支援や校内体制のサポート、魅力ある学校づくりの支援を行っています。

☎ 学校へ問合せ



③スクールカウンセラー (SC)

調布市立小・中学校全校に2名ずつ配置しています。学校の相談室等で児童・生徒本人、保護者の方の相談も受け付けています。

対象年齢: 小学校1年生～中学校3年生

☎ 学校へ問合せ

④スクールソーシャルワーカー (SSW)

福祉の専門家が家庭や学校、地域の関係機関と連携しながら支援を行います。相談内容に応じて、家庭へ訪問したり、地域の関係機関へ同行したりします。

対象年齢: 小学校1年生～中学校3年生

☎ 学校へ問合せ

⑤教育相談所

友達とうまくいかない、集団になじめない、学校に行きづらいなど、子どもについての心配ごとについて、心理相談員が相談を受け付けています。

対象年齢: 3歳～18歳くらい

☎ 042-481-7633 (教育相談所)

⑥教育支援コーディネーター

登校しづりや不登校の相談、発達に関する相談、学校や教員の対応についての相談を行います。相談内容に応じて、関係機関につながります。

対象年齢: 小学校1年生～中学校3年生

☎ 042-481-7718・7719 (教育委員会指導室)

⑦訪問型支援「みらい」

教育支援コーディネーター、心理士等が、不登校の児童・生徒の自宅や公共施設などを訪問し、悩みごとの相談や、お子さんに応じた学習の支援を行います。

対象年齢: 小学校1年生～中学校3年生

☎ 042-481-7718・7719

(教育委員会指導室)



⑧適応指導教室「太陽の子」

【在籍校に籍を置いたまま入室】

不登校の小学校4年生から6年生までの児童の居場所としての役割を担っています。個別課題学習、体験活動、行事等を通して自尊感情を育み、社会的自立に向けた支援を行っています。

対象年齢: 小学校4年生～6年生

☎ 042-481-7718・7719 (教育委員会指導室)



⑨学びの多様化学校分教室「はしうち教室」

【調布市立第七中学校に転校して入室】

不登校の中学生が社会的自立に向けて学ぶ学校です。文部科学省の認可を受け、ゆとりのある時間割で学びます。少人数の学級編制です。個別学習の授業や表現方法を高める「表現科」などの授業も行っています。

対象年齢: 中学校1年生～3年生

☎ 042-481-7718・7719

(教育委員会指導室)



NEW

⑩バーチャル・ラーニング・プラットフォーム (VLP)

3D メタバース空間により構築されたバーチャル空間であり、タブレットなど端末を通してアバターを操作し、コミュニケーションをとることができます。

対象年齢: 小学校1年生～中学校3年生

☎ 042-481-7718・7719

(教育委員会指導室)



⑪テラコヤ・スイッチ

毎週木曜日の午後4時から6時まで、子どもたちと大学生のスタッフとの小さな集団で様々な活動をしています。

「あそび隊の日」、「まなび隊の日」を設けており、ゲームで遊んだり、話をしたりしています。活動内容は子ども自身が決めることができます。

対象年齢: 小学校4年生～中学校3年生

☎ 042-481-7585 (教育委員会指導室)



⑫メンタルフレンド

小学生・中学生の家庭に大学生・大学院生をメンタルフレンドとして派遣しています。

活動内容は、家庭・学校・メンタルフレンドが相談して決めます。ゲーム、おしゃべり、勉強などの活動を行っています。

対象年齢：小学校1年生～中学校3年生

☎ 学校へ問合せ



⑬学校に行きづらい子どもの保護者の集い

学校に行きづらい子どもの保護者の方が一人で悩み、孤立することを防ぐため、保護者の集いを年4回開催しています。そのうち1回は土曜日開催です。

対象：学校に行きづらい子どもの保護者

(調布市在住の方)

☎ 042-481-7585 (教育委員会指導室)



⑭ここあ (社会福祉協議会)

学校・家庭生活などに関する困りごとに関して、ご本人やご家族からの相談に応じます。面談や訪問等により、今後の手立てを一緒に考え、必要に応じて居場所事業等のご案内をします。

対象年齢：中学生以上

☎ 042-452-8816



⑮すこやか

子育てに関する総合的な支援施設です。

相談はケースワーカーや心理士などの専門職が対応しています。必要に応じて、所内サービスを紹介したり、地域の関係機関と連携したりしています。

対象年齢：妊娠期～18歳

☎ 042-481-7731



⑯青少年の居場所「Kiitos」(認定 NPO 法人)

中学生から20代までなら、誰でも利用できる施設です。様々な事情を抱えている子どもたちが、羽を休め安心できる居場所を提供しています。Kiitos では、一人でのんびりしたり、悩みがあるときに話したり、集まった仲間と一緒にご飯を食べたりして過ごすことができます。

対象年齢：中学生から20代

☎ 042-444-0749



⑰青少年ステーション「CAPS」(NPO 法人)

中学生・高校生世代のための児童館。音楽やダンス、スポーツ、クラフトなどの活動ができるほか、何もせず、のんびり過ごすこともできる居場所です。スタッフや心理士が相談に応じ、寄り添いながら一緒に考えます。

対象年齢：中学生・高校生世代

☎ 042-442-5535



※緑色の枠は調布市教育委員会指導室主管の事業を、黄色の枠は「調布市子ども・若者支援地域ネットワーク」のメンバーのうち関連事業を表しています。

※事業名の横の丸数字は次ページの『「混乱期」』『「低迷期」』『「回復期」』における調布市の支援の丸数字に対応しています。

【参考ホームページ】



不登校児童・生徒への取組

<https://www.city.chofu.lg.jp/kosodatekyouiku/gakkou/futoukou/index.html>

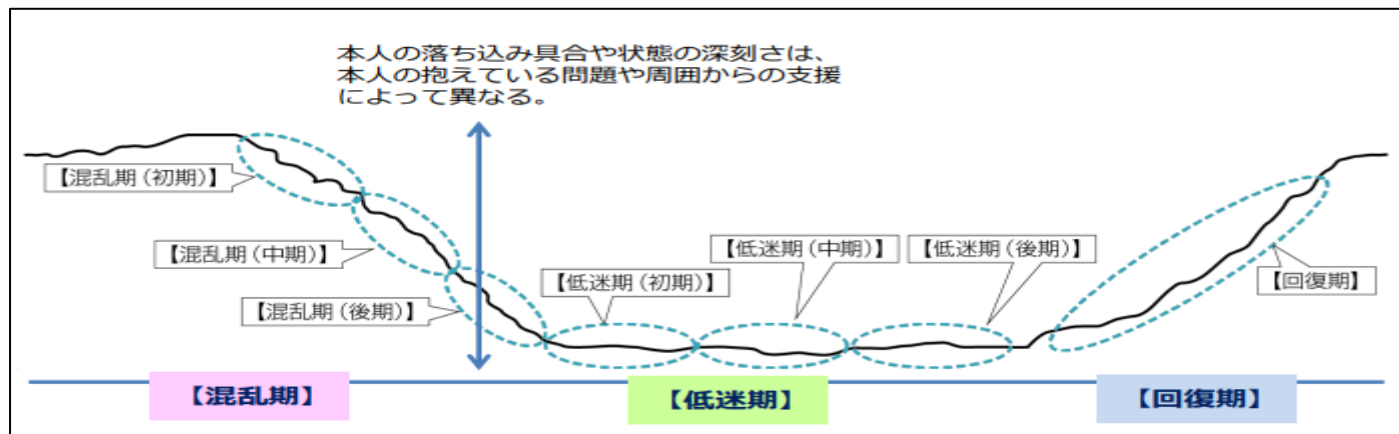


「子ども・若者」についての不安や悩みの相談
(ひきこもり、ニート、不登校、子育て全般など)

<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1597716681694/index.html>

◆不登校児童・生徒の回復へ向けた三つの時期

不登校からの回復への道のりは、その様相や期間など、一人一人異なっており、決して一様ではありません。しかし、一般的にその状態は大きく「混乱期」「低迷期」「回復期」の三つの時期に分けることができます。下の表の子どもの姿を参考に、現在の状態を把握して、適切な支援を考えていきましょう。



混乱期の子ども姿	低迷期の子ども姿	回復期の子ども姿
○遅刻や欠席をしたり、授業に集中できなくなったりして、成績が落ちることある。 ○人と関わることが減り、一人であるが増える。 ○元気がなくなったり、口数が減ったりして、保健室に行くが増える。 ○イライラしているように見える。 ○寝つきが悪くなったり、食欲が落ちたり(あるいは過食になったり)する。等	○午前中は体調不良を訴え、午後になると元気になることもある。 ○昼夜逆転し、ひたすらゲームをしたり、一日中ヘッドホンを着けて音楽を聴いていたりする。 ○家族との関わりを避け、自室に引きこもりがちになる。 ○好きなことだけをしていて、怠けているように見える。 ○食事を家族とはとらず、一人で勝手に食べることもある。 ○風呂に入らなくなったり、髪を切りにいなくなったりする。 ○学校や勉強の話題になると、途端に声を荒げたり、その場から立ち去ったりする。等	○家族と一緒にいる時間や会話が増える。 ○学校、勉強、進路などを気にする発言が出たり、たまに教科書を開いたりする。 ○散歩や運動をしたり、床屋(美容院)や買い物に出かけたりする。 ○宅配業者や来訪者の対応ができるようになる。電話に出ることができるようになる。 ○緊張や焦りの表情が薄れ、笑顔が見られるなど、表情が豊かになる。 ○よく眠れるようになる。 ○友達と会って話すことも出てくる。等

児童・生徒を支援するためのガイドブック(東京都教育委員会)より

◆「混乱期」「低迷期」「回復期」における調布市の支援

下のグラフは、それぞれの時期に活用できそうな支援をまとめていますが、あくまでも目安です。上の表を参考にお子さんの現在の様子を把握して、お子さんの性格や得意なこと等も考慮しながら適切な支援を考えていきましょう。

【混乱期】	【低迷期】	【回復期】
①校内支援		
②不登校対応巡回教員		
③スクールカウンセラー(SC)		
④スクールカソーシャルワーカー(SSW)		
⑤教育相談所		
⑥教育支援コーディネーター		
	⑦訪問型支援 みらい	
	⑧太陽の子	
		⑨はしうち教室
⑩バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)		
⑪テラコヤ・スイッチ		
⑫メンタルフレンド		
⑬学校に行きづらい子どもの保護者の集い		
⑭ここあ		
⑮すこやか		
⑯Kiitos(キートス)		
⑰CAPS(キャプス)		